

【受験用】7日間 自分でがんばる(^o^)♪
3級レベル 簿記ワークブック

もくじ

1日目	現金預金	1
	通貨代用証券・現金出納帳・現金過不足・当座預金・当座借越 当座預金出納帳・小口現金	
2日目	商品売買	11
	分記法と3分法・商品の仕入れ・商品の売上げ・仕入帳・売上帳 商品有高帳・得意先元帳と仕入先元帳・売掛金明細表・買掛金明細表	
3日目	手形・その他の債権債務	21
	約束手形と為替手形・手形の裏書と割引 受取手形記入帳と支払手形記入帳・その他の債権・債務	
4日目	有価証券・固定資産	33
	有価証券の売買・有価証券の評価 固定資産の取得・固定資産の減価償却・固定資産の売却	
5日目	決算整理	41
	決算整理における商品の処理・売上原価の計算 費用・収益の見越しと繰延べ・貸倒れの見積り・引出金の整理	
6日目	決算手続	55
	棚卸表の作成・決算整理後残高試算表・帳簿の締め切り 決算振替仕訳・繰越試算表	
7日目	精算表・伝票	65
	精算表のいろいろ・財務諸表の作成 伝票制・誤謬訂正	

1 日目 げんきん よ きん 現金預金

月 日 ()

【今日の要点】

- ①簿記の世界では「通貨代用証券」も現金扱いする
- ②現金過不足の原因が判明しなければ「雑損」または「雑益」になる
- ③当座借越契約を結んでいる場合の仕訳には「一勘定制」と「二勘定制」がある

【問題1】 次の各取引を仕訳しなさい

- (1) 関東商店へ商品(売価300,000円 原価180,000円)を売り渡し、代金は同店振出の小切手で受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・商品・商品売買

- (2) 株式配当金領収書10,000円を受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・受取配当金

- (3) 手持ちの社債について、利札12,000円の期限が到来した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・受取利息

- (4) 掛代金の回収として、郵便為替証書4,000円を受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・売掛金

(5) 旭川商店から商品代金の内金として送金小切手40,000円を受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・前受金

(6) 茨城商店へ商品(売価500,000円 原価350,000円)を売り渡し、代金は同店振出の小切手で受け取り直ちに当座預金へ預け入れた。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・商品・商品売買益

(7) 株式配当金領収書 20,000円を受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・受取利息・受取配当金

(8) 手持ちの国債について、利率10%の期限が到来した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・受取利息・受取配当金

(9) 掛代金の回収として、郵便為替証書8,000円を受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・売掛金・買掛金

(10) 小樽商店から商品代金の内金として送金小切手10,000円を受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・前受金・送金小切手

【問題2】 次の各問に答えなさい

(1) 本日決算 現金勘定はいくらになるか？

現金出納帳の残高 27,500円
紙幣・硬貨の合計 27,000円

(未処理事項)

配当金領収証 2,000円 社債利札 5,600円(うち期限到来分2,800円)

	円
--	---

(2) 上記(1)の、必要な仕訳を行いなさい

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・受取配当金・受取利息・雑益・雑損

【問題3】 次の各問に答えなさい

(1) 本日決算 現金勘定はいくらになるか？

現金出納帳の残高 30,000円
紙幣・硬貨の合計 27,500円

(未処理事項)

配当金領収証 1,800円 社債利札 6,300円(うち期限到来分4,500円)

	円
--	---

(2) 上記(1)の、必要な仕訳を行いなさい

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・受取配当金・受取利息・雑益・雑損

【問題4】次の一連の取引を仕訳しなさい

- (1) 現金出納帳の残高は13,739円であるが、実際に現金有高を確認したところ12,739円であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・現金過不足

- (2) 後日、交通費2,000円のところ200円と誤記していたことが判明したので訂正する。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金過不足・交通費

- (3) 決算につき、現金過不足の残高を適当な科目に振り替える。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金過不足・繰上利益・繰上損失

【問題5】次の一連の取引を仕訳しなさい

- (1) 現金の実際有高が帳簿残高よりも2,000円少なかった。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・現金過不足

- (2) 後日、通信費2,000円と受取手数料1,000円の計上もれが判明した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金過不足・受取手数料・通信費

(3) 決算につき、原因不明分を適当な科目に振り替える。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・現金過不足・雑益・雑損

【問題6】次の一連の取引を仕訳しなさい

(1) 現金の実際有高が帳簿残高よりも5,000円多かった。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・現金過不足

(2) 上記(1)のうち、3,500円は利息の計上もれであることが判明した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・現金過不足・利息・雑益

(3) 後日、消耗品費1,000円の計上もれがあることが判明した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・現金過不足・消耗品費

(4) 過日、受取手数料2,000円を受け取ったときに200円と誤記していたことが判明した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金過不足・受取手数料

(5) 本日決算につき、必要な仕訳を行う。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・現金過不足・雑益・雑損

【問題7】 次の各取引を仕訳しなさい

- (1) 鹿児島商店に対する買掛金50,000円を小切手を振り出して支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・買掛金

- (2) 秋田商店に対する売掛金120,000円を同店振出の小切手で受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・売掛金

- (3) 岩手商店に対する掛代金の回収として、当店振出の小切手40,000円を受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・売掛金・買掛金

- (4) 新潟商店に対する売掛金70,000円を同店振出の小切手で受け取り、直ちに当座預金とした。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・売掛金・買掛金

- (5) 山形商店に対する掛代金回収のため、当店振出の小切手60,000円を受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・売掛金・買掛金

- (6) 沖縄商店に対する掛代金45,000円を、小切手を振り出して決済した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・売掛金・買掛金

【問題8】 次の一連の取引を仕訳しなさい(当座借越契約を結んでいる)。

- (1) 買掛金60,000円を小切手を振り出して支払った。但し、当座預金残高は70,000円である。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・当座借越・売掛金・買掛金

- (2) 当座預金から現金20,000円を引き出した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・当座借越

- (3) 当座預金口座に掛代金30,000円が振り込まれた。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・当座借越・売掛金

- (4) 当座借越利息10,000円が当座から引き落とされた。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・支払利息

- (5) 手形代金の決済のため、当座預金口座から50,000円が引き落とされた。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・当座借越・支払手形

【問題9】 次の各取引を仕訳しなさい。(当座借越契約を結んでいる)。

- (1) 買掛金50,000円を小切手を振り出して支払った。但し、当座預金残高は30,000円である。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座・買掛金

- (2) 掛代金の回収として、当店振出の小切手70,000円を受け取った。但し、当座預金残高は20,000円である。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座・売掛金

- (3) 当座預金口座に掛代金120,000円が振り込まれた。但し、当座預金残高は10,000円である。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・売掛金

- (4) 当座借越利息150円が口座から引き落とされた。但し、当座借越残高は37,500円である。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座・支払利息

- (5) 買掛金60,000円を小切手を振り出して支払った。但し、当座借越残高は15,000円である。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・当座借越・買掛金

- (6) 当座預金から電気代12,000円が引き落とされた。但し、当座借越残高が20,000円ある。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座・水道光熱費

【問題10】(1)当座預金出納帳を完成させ、(2)指定された各日付の仕訳を示しなさい

10/ 2	香川商店より掛回収	10,000円
3	小口現金補充	5,000円
10	掛代金支払(小切手#31)	18,000円
15	徳島商店より掛回収	30,000円
20	家賃支払(小切手#32)	12,000円

(1)

当座預金出納帳

日付	摘要	預け入れ		引き出し		借/貸	残高	
10/ 1	前月繰越	2	5000					

(2)

10/2の仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・売掛金・当座借越・買掛金

10/10の仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・売掛金・当座借越・買掛金

10/15の仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・売掛金・当座借越・買掛金

【問題11】小口現金出納帳の記入を行い、必要な仕訳をしなさい。なお、当社はインプレスト・システムを採用している。小払い資金の補充は、週明けに用度係から前週分の報告を受けた後、直ちに小切手を振り出して補充している。

9月 1日(月)	補充	11,500円	4日(木)	ファイル	800円
	お茶	1,300円		郵便切手	1,600円
2日(火)	バス回数券	2,000円	5日(金)	コピー用紙	2,400円
3日(水)	電話代	100円		タクシー代	3,800円
	来客用お菓子	1,000円			

小口現金出納帳

(単位：円)

受入	日付		摘要	支払	内 訳			
					交通費	消耗品費	通信費	雑費
8,500	9	1	前週繰越					
		"						
			合 計					
			次週繰越					
	9	8	前週繰越					
		"	補 充					

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 当座預金・交通費・消耗品費・通信費・雑費

2日目 しょうひんばいばい 商品売買

月 日()

【今日の要点】

- ①商品売買の仕訳には「ぶんきほう分記法」と「さんぶんほう3分法」がある
- ②仕入原価には引取運賃などの仕入諸掛をしいれしょがかり含めて処理する
- ③発送費は売上金額からマイナスしないで独立科目とすること

【問題1】 次の各取引を仕訳しなさい

- (1) 横浜商店から商品120,000円を仕入れ、代金は現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・商品

- (2) 八王子商店から商品180,000円を仕入れ、代金は現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・仕入

- (3) 丹後商店へ商品(売価240,000円 原価180,000円)を売り渡し、代金は同店振出の小切手で受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・商品・商品売買益

- (4) 篠山商店へ商品(売価300,000円 原価210,000円)を売り渡し、代金は同店振出の小切手で受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・売上

【問題2】 次の各取引を仕訳しなさい

- (1) 川崎商店から商品180,000円を仕入れ、代金は掛とした。なお、引取運賃3,000円を現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・買掛金・仕入

- (2) 上記(1)の商品のうち、品違いのため20,000円分を返品した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 買掛金・仕入

- (3) 浜松商店から商品200,000円を仕入れ、代金は掛とした。なお、引取運賃1,800円を現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・買掛金・仕入

- (4) 上記(3)の商品のうち一部が汚れていたため10,000円の値引きを受けた。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 買掛金・仕入

- (5) 静岡商店から商品80,000円を仕入れ、引取運賃2,000円とともに代金は掛とした。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 買掛金・仕入

【問題3】 次の各取引を仕訳しなさい

- (1) 石山商店へ商品450,000円を売り上げ、代金は掛とした。なお、発送運賃3,000円を現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・売掛金・売上・発送費

- (2) 上記(1)の商品のうち、商品汚れのため10,000円の値引きを行った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 売掛金・売上

- (3) 草津商店へ商品380,000円を売り上げ、代金は掛とした。なお、先方負担の発送運賃2,000円を現金で立て替えて支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・売掛金・売上

- (4) 彦根商店へ商品500,000円を売り上げ、代金は掛とした。なお、発送費用4,000円は当店負担で現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・売掛金・売上・発送費

- (5) 上記(4)の商品のうち、品違いのため20,000円が戻された。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 売掛金・売上

【問題4】 次の各取引を仕訳しなさい

- (1) 祇園商店へ商品300,000円を売り上げ、代金のうち半額は同店振出の小切手で受け取り、残額は掛とした。なお、当店負担の発送運賃2,000円は現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・売掛金・売上・発送費

- (2) 上記(1)の商品のうち、商品汚れのため10,000円の値引きを承諾した。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 売掛金・売上

- (3) 八坂商店へ商品300,000円を売り上げ、代金のうち100,000円は同店振出の小切手で受け取り、残額は当店振出の小切手で回収した。当店負担の運賃1,000円は現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・売掛金・売上・発送費

- (4) 五条商店へ商品400,000円を売り上げ、代金のうち150,000円は同店振出の小切手で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。残額は掛として、同店負担の運賃2,500円は現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額

(使用可能な勘定科目) 現金・当座預金・売掛金・売上・発送費

【問題5】 次の各問に答えなさい

(1) ()内に入る数字を計算し解答欄に記入しなさい

仕 入 帳

(単位：円)

平成 〇年	摘 要	内 訳	金 額
12	5 淡路商店 掛		
	スケッチブック大 50冊 @ ¥150	(①)	
	スケッチブック小 30冊 @ ¥100	3,000	(②)
	6 淡路商店 掛返品		
	スケッチブック小 5冊 @ ¥100		(③)
	18 徳島商店 小切手および掛		
	スケッチブック大 40冊 @ ¥130	5,200	
	スケッチブック小 20冊 @ ¥ 90	1,800	
	引取運賃現金支払い	800	7,800
	19 徳島商店 掛値引		
	スケッチブック大		200
	31	総 仕 入 高	(④)
	"	仕入値引・返品高	(⑤)
	"	純 仕 入 高	(⑥)

解答欄

①	②	③
④	⑤	⑥

(2) 次の各日付の仕訳をしなさい

12/6

借方科目	金 額	貸方科目	金 額

(使用可能な勘定科目) 買掛金・仕入

12/19

借方科目	金 額	貸方科目	金 額

(使用可能な勘定科目) 買掛金・仕入